

# 桜井グラフィックシステムズ・ユーザー訪問 「OLIVER-66RCS」

## 倉地社長に聞く

オフセット印刷機、スクリーン印刷機のメーカーである桜井グラフィックシステムズ(以下、サクライ)がユーザーの声を聴き、開発をしたロータリー複合加工機「OLIVER-66RCS」が倉地紙工所に導入され、その特長を活かし仕事の幅を広げている。今回、倉地紙工所の倉地社長をお訪ねし、導入の経緯、66RCSの特長などと共に今後の展開をお聴きした。(文責編集部)



倉地社長とOLIVER-66RCS

「ロットの大きなミシ」である倉地紙工所は、入れ、細かいデザイン、名古屋市北区に拠点を置き、同社は昭和47年トムソンの加工会社に祖父の先代社長が古

田紙工(株)から独立して夫婦で始められたトムソン加工の会社が起源となる。手差しトムソン機での古田紙工からの下請け仕事から始まり、その後、誠実さと確かな仕事で着実にお客様と仕事を増やし今に至っている。現在、ロータリー複合加工機「OLIVER-66RCS」の他に、スガノのNF・1020と同社用の改造されているNF・1030、断裁機と、iMac、Win10のデザイン、制作の環境も整えている。倉地社長は、愛知県トムソン工業協同組合の青年部の会長を務めると共に、組合員の技術向上のために技術指導にも出向く。また、ホームページには、印刷営業マン向けのトムソン加工マニュアルを掲載し、無用なトラブルを未然に防ぐ努力もしている。

同社が桜井グラフィックシステムズのロータリー複合加工機「OLIVER-66RCS」(以下、66RCS)を導入したのは、平成28年。新たな事業展開への布石であった。「弊社は9割が板紙の仕事で、薄物もある程度のもまではNF・1020でも出来るようにしていますが、もう少し薄紙の仕事も取り入れ、仕事の幅を広げようということで導入を決めました。66RCSの最大の魅力は、サクライさんの長年培われた枚葉オフセット印刷機をベースに開発されたロータリー複合加工機の見当精度と生産性の高さです」と、導入の経緯を語る。倉地社長は、研究熱心である。MacやW

## 倉地紙工所

代表：倉地 満  
名古屋北区丸新町436  
TEL052(902)9105  
FAX052(934)7008  
URL:https://kurachi-shikoujo.jp/  
E-mail:info@kurachi-shikoujo.jp

配もありません。木型では製作困難な複雑な形状のシールやPOP、ペーパーラフトなどの製作、マイクロミシンも可能なので伝票やブライスカード等プリンター用紙も加工できます。また、カット、ミシン、ハーフカットを同時に行なうことができます。

66RCSは、サクライの枚葉オフセット印刷機「OLIVER-66RCS」をベースに開発され、マグネットシリンダーとピナクル版を使用し複雑な打ち抜き、ミシン掛け、ハーフカットが高速に行なえるロータリー複合加工機であり、印刷機ならではの高い見当精度と幅広い用紙サイズへの対応、毎時10,000枚の高速で加工する高い生産性を実現している。最大用紙サイズは660×470mm、紙厚は0.04~0.3mmに対応する。「66RCSは掛け値なしで良い機械です。この東洋アドバンス様の折って組み立てると名古屋城と本丸御殿が前後に見える名古屋の観光グッズなどは、非常に凹凸が細かいデザインです。木型は刃を曲げて抜き型を作る工程上こうした細かいものは無理です。これはピナクル型だからできる仕事です。もう一つの文字の型に抜いた会社案内を入れる封筒は、文字の複雑な型が

ありトムソンでは出来ないです。こうした加工はピナクル版と66RCSだから出来ます。ほんの少しの抜きと絵柄のずれでも人間の目には異常を見分けますから、見当精度が重要になります。」

倉地社長は、66RCSの良さを知ってもらうためには、お客様の問合せには多くの時間を割いて懇切丁寧に紹介する。「66RCSで加工した見本をデザイナーの方に見せると目の色が変わります。木型の場合は余り複雑な抜き加工は難しいですが、そうした制約がほとんどなくなりやすから、デザイナーの方の腕の見せ所です。」

もう一つの特長である生産性についても高い評価をする。「ピナクルの型は木型に比べ型が少し上がりますが、66RCSは、生産性が高く、その分加工費が抑えられるので、納期、トータルコストで考えると割安になる場合も多いです。特に大・中ロットのミシン入れなどの加工では66RCSの方が納期、価格にメリット

東洋アドバンス様の名古屋観光グッズとその細部



印刷会社は、大きな紙を使い、通し枚数を減らした方が、利益が出る。しかし、後に加工が有る場合は、後加工も含めて考える必要がある。例えば菊全判一杯に配置した小さなシールは、印刷の時点でも見当の問題が出るし、それに表面加工があると、確実に用紙の伸縮がある。「打ち抜き加工やミシン入れもそうですが、印刷後の表面加工などで用紙が大きく伸縮します。この伸縮も用紙の種類、紙厚などいろいろな要素が関係してきます。当然、型の製作では考慮していません」といけません。また、用紙の目などに、いろいろなことにトムソン加工の決まりごとがあります。この決まりごととは長年培われた良い製品を作るためのものですから、加工に不慣れなら最初に相談をして頂ければ、用紙の種類、紙厚、表

面加工の有無、印刷の条件によって違ってくる状況で考慮すべきことはアドバンスです。最も厳しい仕事でも、型に合わせて印刷を作り、印刷する仕事もあります。倉地社長は「66RCSを導入して、徐々にでは有りますが、薄紙の仕事も入ってきています。薄紙の仕事の依頼にきて、板紙の仕事も一緒に入ってくることもあります。大ロットのミシン入れや細かい凹凸の有るデザインなどは66RCSの特性が一番出ます。こうした特性を皆さんに知っていただきたくて」と語った。

# 挑戦

OSAWA CORPORATE PROFILE

文字型に抜かれた封筒の文字

## 第9回 サクライ岐阜工場 新技術発表会

平成31年4月16日(火)~19日(金) 10:00~17:00

### ロータリー複合加工機 OLIVER RCS シリーズ

### 圧胴シート張り方式をリニューアル

### 加工精度を向上



NEW  
**OL-66RCS**

各種電装品と外観デザインも一新。機能性、安全性、作業性を追及した高精度の加工機。



Version UP  
**OL-266RCS**

2つの版胴が異なる複雑な加工をワンパスで処理。作業の効率化と製品の高付加価値を実現。